小学校五年の部　佳作

対象作品／櫻いいよ著『世界は「」で満ちている』ＰＨＰ研究所

人との出会い

弘前市立大成小学校　小堀和華

「本屋さんに行きたい」

わたしは、めずらしく母にお願いしました。文ぼう具や絵本は好きですが、厚くて文字が細かく文ばかりの本を読むのは苦手なので、読み応えがありそうな本ばかりならんでいる所に行ったわたしを見て母は不思議そうにしていました。わたしは五年生になったので、何事にもちょう戦してみようという気持ちで、今までに読んだ事が無いくらいの厚い本を選ぶ決心をしていました。

この本は大きく五つに分かれていたので、厚い本でも読みやすいかなと思っていました。しかし、そう合的には全部つながっている話だったので、読むのに何日もかかりました。題名に「」が使われていたので、世界は会話で満ちているのかなと予想していました。しかし、この本では「」に自分の心の中が当てはめられていました。学校や家庭での生活が話題だったので、自分にも重ねて考えられて、長い文でもどんどん読み進める事ができました。文中には、会話文や主人公の心の中の声がたくさん書かれていて、気持ちの変化が手に取るようにわかりました。

最初の方で、一番の親友にうら切られ、楽しかった学校が急に苦つうなかんきょうになった所はとても切なかったです。みんなが話を聞いてくれなくて、ご解が解けないまますごす事はつらいと思います。でも後に、そのうら切った相手と話をした所は感動しました。勇気があると思います。今は、自分がされた事に対して許す気持ちのよゆうが無い事を伝えて、でも応えんする気持ちはある事も伝えて、正直な人間らしさを感じました。

最後の最後に、自分の気持ちにす直になって行動した所は読みながらきんちょうしました。学校をさぼったり、せい服をどろだらけにしたり、ハラハラして読んでいましたが、自分ばかりきずつけられているのではなく、知らないうちに人をきずつけている事に気付けたところがすごいと思いました。そして、みんないやな思いをさせられた相手でも、全てを許

している理由でなくても関わって生きていく所が大人だなと感じました。

色々な人の感じ方を知り、そういう考え方もあるのだなと新しい気付きの連続でした。これから、わたしもたくさんの人達と出会っていくのでこの本を参考に、自分の思いこみだけで生きず、相手の気持ちも考えて成長していけたらなと思いました。